

授業科目名	保健科教育法4 (Teaching Method for Health Education 4)		
科目番号	84540(保健科学部)	授業形態	講義
単位数	2単位	履修年次	2・3年次
教員の免許状取得のための必修・選択	選択(中免のみ必修)	受講対象	保健科学部
担当教員(研究室)	野津 有司 (非常勤講師)		
実務経験のある教員による授業科目			
免許法施行規則に定める科目区分等	教職に関する科目(教育課程及び指導法に関する科目)		
	各教科の指導法		
授業の到達目標	保健の学習内容について理解を深めるとともに、学習指導案の作成や教材づくりを通して保健授業の指導力を高める。		
授業概要	中学校の学習指導要領に位置づけられた保健内容について解説する。また、学習指導案の作成や教材づくりを行い、検討する。		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修 授業前に、中学校保健分野の教科書の内容を調べる (2H) 事後学修 授業後に、学習指導案を見直し、省察を深める (2H)		
授業計画	第1回: 中学校学習指導要領(保健分野)「傷害の防止」 第2回: 中学校学習指導要領(保健分野)「健康と環境」 第3回: 中学校学習指導要領(保健分野)「疾病の予防」 第4回: 保健授業(事例1)の分析 第5回: 保健授業(事例1)の改善点の検討 第6回: 学習指導案の作成(1)導入、展開、まとめ 第7回: 学習指導案の作成(2)発問づくり 第8回: 学習指導案の作成(3)評価の観点 第9回: 情報機器を活用した授業 第10回: 教材を活用した授業 第11回: 模擬授業の実践・省察 第12回: 模擬授業の修正 第13回: 保健授業(事例2)の分析 第14回: 保健授業(事例2)の改善点の検討 第15回: まとめ		
テキスト	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編		
参考書・参考資料等	文部科学省編 『改訂「生きる力」を育む中学校保健教育の手引』 教員養成系大学保健協議会編 『学校保健ハンドブック 第7次改訂』ぎょうせい		

成績評価方法	レポート(50%)、筆記試験(50%)により総合的に評価する。
成績評価基準	A+:到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている A:到達目標を達成し、優秀な成績を修めている B:到達目標を達成し、良好な成績を修めている C:到達目標を最低限達成している。 D:到達目標に達していない